

はこぎき

箱崎環境対策協議会

第 5 号
中央区日本橋
箱崎町 34 の 8
電話 667-5667

頌春

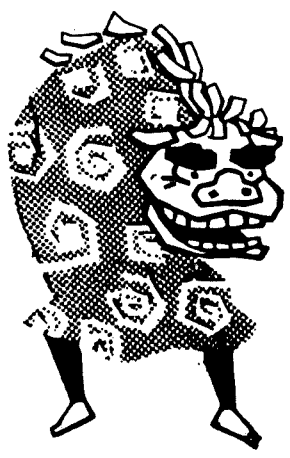
☆御挨拶

平成三年の新年を迎え箱崎町の皆様、明けましてお目出とう御座います。昨年は東西ドイツの統合、ペレストロイカ、米ソの接近、中東人質問題、国内では天皇御即位、大嘗祭等一年の間にこれ程大きな出来事は、過去に於ても例が無く集中してめまぐるしい一年で有りました。当町会に於ても六月に天皇陛下の東電熱供給センター御視察で町を挙げての歓迎、一躍箱崎の地名度を上げました。又八月は四年振りの八幡様の大祭で箱崎の神輿が連合の先陣を担いだ大役を見事果し立派でした。

地下鉄半蔵門線の開通と共に益々重要拠点となる箱崎地区は、近く工事を予定している地区再開発並びに読売新聞社の建設等を控える中央区役所に於てもその対応を重視して、適切な環境対策を計画される事と思っております。箱崎環境対策協議会も当初の仕事として、水天宮一ターミナル間、箱崎公園前通りの道路整備等も終って陳情の成果が達つせられました。今年三月末完成予定のIBM社員献活動資金による箱崎のメイン通り、湊橋の通りが見違える様な姿になると思っています。然しどんなにビルが沢山出来、町も奇麗になつても住民の居ない町にはしたく有りません。願わくば永年住みなれた又、今後も箱崎で仕事をしたい、住みたいとこんな願いを持つた皆様と一緒に今年も助け合つて行ききたいと思ひます。どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。最後に御仕事のかたわら毎回公平な立場でニュースを流していただいている編集員の御苦労に対し厚く御礼を申し上げ年頭の御挨拶と致します。

箱崎環境対策協議会

- 会長 宝田 陽一
- 副会長 川田 利雄
- 清水 総一郎



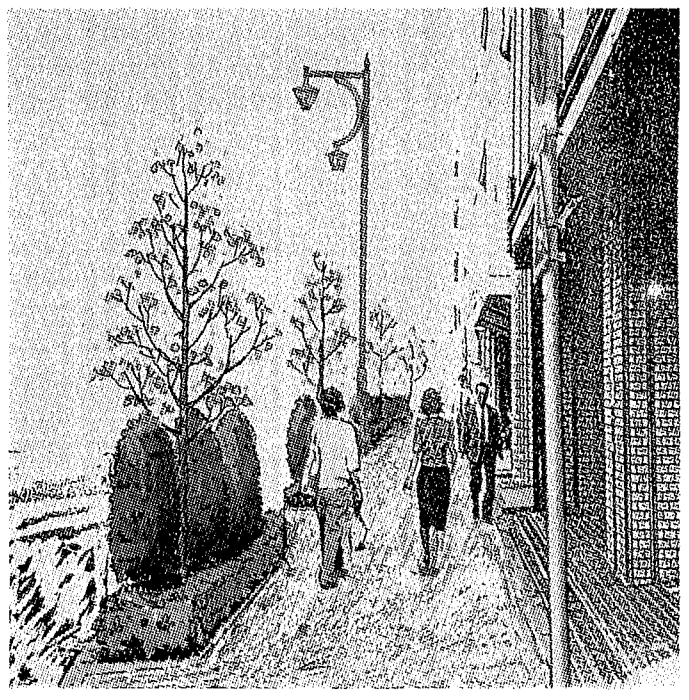
IBM社寄贈寄金の活用決まる!

「はこぎき」第三号に御案内致しました、日本IBM株式会社様より寄贈載いた五千万円の用途について、中央区役所日本橋土木課と相談の結果、箱崎町五番地先(湊橋)より二番地旧土洲橋交差点迄の道路工事を現在行つております。

道路工事完成に合わせて御寄贈載いた額内で植栽及び街路灯の設置を行うものです。古い街路灯八基を撤去し新設灯柱十二基(二灯用)八面体の灯具が計二十四台になり箱崎の街中が又々明るく町に姿身、植栽に付いては「ハナミズキ」白六十二本、「ベニカナメモチ」二百七十本、「ハマヒサカキ」二千三百本植栽されます。

今年三月には左記のイメージ図の様な街に仕上ります。

日本橋土木課では、電話、ガス及び建築工事に伴う諸工事をした後の排水溝及び車道等の凸凹を平らにし、あわせて歩道のカラー舗装を行うものです。平成二年十月一日、三年三月二十七日迄の期間中、歩行者や車の通行、家の出入り、騒音その他ご迷惑を出来るだけ少なくし、一日も早く工事の完成に努力致しますので地元の皆様深い理解とご協力を賜りますよう、宜しく御願ひ申し上げます。」と言つています。



スーパ一堤防延長工事始まる!

IBM箱崎ビルの隅田川スーパ一堤防に続いて隅田川大橋をはさんだ読売ビル建設予定地側でもスーパ一堤防の工事が始まつている。これは現在のコンクリート堤防(カミソリ堤防と呼ばれる)の外側で台船を利用して川底にコンクリートを注入し地盤を固める工事です。緑ゆたかな広々としたスーパ一堤防が出来上がると箱崎の川辺は住民にとつて素晴らしい憩いの場所となるでしょう。

一方読売ビルの建設着工は建築確認が下り次第、現場事務所では三月頃と言つている。

半蔵門線全線開通!

昨秋(十一月二十八日)開通した半蔵門線(三越―水天宮間)一、三キロ昭和四十八年に渋谷より工事着工以来十七年の歳月を要し、ようやく渋谷―水天宮前間十、八キロの全線が開通した。

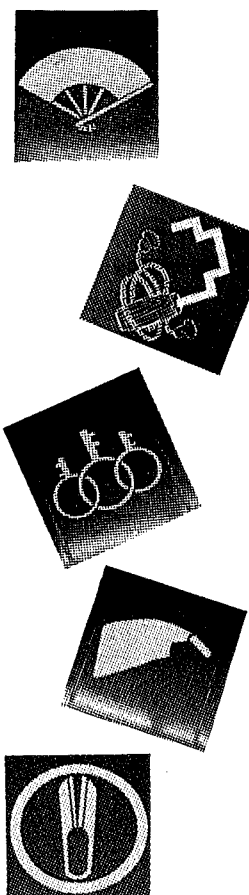
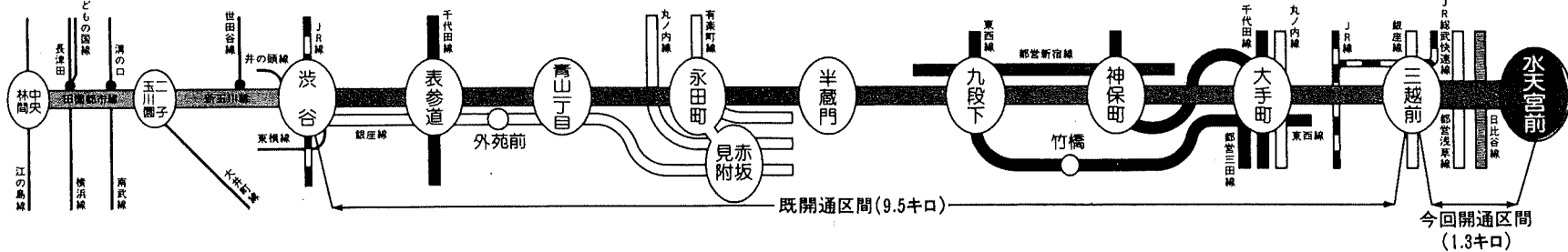
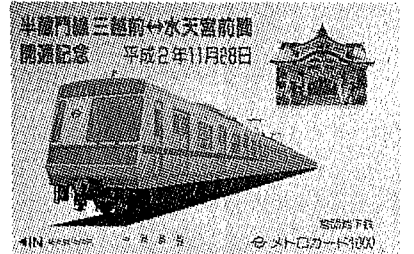
昨年新駅の名称問題では、たいへんな物議を交わしたが、最終的には営団の裁量で駅名は「水天宮前」と決着した。

今回の開通により地元周辺地域への影響は大きく、特に東京シティ―エアターミナルとの直結により、一段と交通の便利が増し、神奈川県と都心部を直結する基幹的動脈として、ますます重要性が高まっていくものと期待されている。

営団では、きれいな、明るい、便利、水天宮前駅はこんな駅と、新駅について次のようにアピールしている。

「ぴかぴかの新駅の特徴として、構内のデザインをあげ、列車から降りるとすぐ目に入るホーム側壁に、江戸から明治にかけて、商店の軒先にかげられていた下町情緒と伝統ある老舗の暖簾をモチーフにデザイン化した五種類のシンボルマーク、扇子屋、仕立屋、二つのバルジヨンの鍵屋、そして鍛冶屋の商標、気を付けて見るとホームの壁は暖簾をなびかせる風のさざ波のようで、方向を変えると違う色に見えるのがポイント。エスカレーターや階段のデザインも、駅の片側がモダンな洋風で統一、もう一方は障子や扇をあしらった和風で統一されている。シテイ―エアターミナルを意識して、天井が飛行機の翼のようにゆるやかにカーブを描いており、改札には最新式の自動改札第一号機を設置、エアターミナルに続く道路には海外の旅行者が多く利用するため、営団地下鉄では初登場の動く歩道(ムービングウオーク)二基で、地下ホームからでもラクラク移動できるシステムで、エスカレーターとも違い足下の段差を気にせずスムーズにトランクを運べるのがメリット!

この地下鉄の開通には、水天宮前莫大な建設費用がかかった。三越前間だけで約三百九十億円、キロ当りの建設費は四百三十四億円といわれている。



半蔵門線は現在、水天宮前駅より西方へ渋谷駅を経由、新玉川線と田園都市線に直結、中央林間駅まで四十二キロ、所要時間は約七十分です。

■始終発時刻表 ■は到着時間を示す

始 発		終 発			
A 線	B 線	A 線		B 線	
二子玉川開発 水天宮前行	水天宮前発 中央林間行	中央林間発 水天宮前行	中央林間発 永田町行	中央林間発 青山一丁目行	水天宮前発 鷺沼行
5時16分		23時53分	24時04分	24時15分	
18'	↑ 21'	55'	↓ 06'	↓ 17'	↑ 22'
21'	↑ 18'	57'	↓ 08'		20'
23'	↑ 16'	24時00分			17'
25'	↑ 14'	02'			16'
28'	↑ 11'	04'			13'
29'	↑ 10'	06'			12'
32'	↑ 07'	09'			09'
↓ 34'	↑ 05'	10'			07'
	5時03分				24時04分

「水天宮駅前」

自転車「ちやちや」

昨年十一月二十八日に開通した地下鉄水天宮前は、初日三万人の乗降客だった。

現在は、一日平均二万二千人。今後、路線延長の予定はないが、乗降客は増えるそうです。

地下鉄の出入口は、自転車「ちやちや」が、毎日に歩きにくくなってきた。

特に、箱崎郵便局の前、水天宮の公園側と証券会社側がめだちます。今後、どうしたら良いか考えていきたいと思えます。

話は違いますが、「忘れ物の問い合わせ」の電話は、(三二四九)六二二六 です。

「日本橋高校、改築終わる」

日本橋高校は昨年、校舎改築中でしたが、生徒は他の学校にて勉強しています。

やつと改築工事も終わり、一月十七日に戻ってきます。

冷暖房の施設も、立派なものが出て、明るい校舎になりました。

まわりの住宅には、大分迷惑をかきたものと思えます。

又、生徒が戻ってくると賑やかに なります。